



平成 27 年 1 月 10 日(土)～3 月 1 日(日)

県立文書館 コーナー展示

「河川図 かわのえず・かわのちず」

河川図とは

河川図は主に、治水に関わる図や堤外地を描いた図、用水や上水を描いた図、河川交通や地誌的な図をいいます。本展示では、県立文書館が所蔵する、江戸から明治、現在へと移り変わる中で作られた様々な河川絵図や地図を通して、身近な河川の理解を深め、多様な絵図・地図の世界を知っていただくことを目的としています。

展示の構成

開催にあたって

埼玉県と河川との関わりについて概観的に紹介します。

埼玉県は県面積の 3.9%を河川が占め、この割合は全国で一番です。地域と河川とのつながりは深く、生活の一部として身近であったため、様々な目的に合わせた川の絵図や地図が作られました。

本展示では、県立文書館が所蔵する江戸時代から現在までの河川図を通じて、“川の国埼玉”の人々と川との関わりを様々なテーマから紹介します。

(1) 関東河川図

「足立関東絵図」(足立家 105)、「関東川々村附絵図」(武笠(寛)家 1185)など、関東平野を流れる主要河川や用水、街道、村々について描いた江戸時代の川のベース・マップを紹介します。また、当館所蔵資料の中では希少な卷子装の用水図「玉川上水野火止分水口より流末宗岡迄之絵図」(小室家 5707)を併せて展示し、江戸期の開発の様子も紹介します。

(2) 利根川の東遷・荒川の西遷

徳川家康は江戸に入府すると、洪水防御、新田開発、舟運開発などのため、赤堀川を開削し利根川を東へ、荒川は利根川から分離し、西へ流路を変える付け替え工事を行いました。これは「利根川の東遷・荒川の西遷」と呼ばれ、この河川改修によって現在の関東平野の姿が成立しました。展示では、この開削の様子を描いたとされる「赤堀川切広之図」(田口(栄)家 1797)を中心に紹介します。



田口(栄)家 1797 「赤堀川切広之図」

「赤堀川切広之図」には、工事を行うたくさんの方々の様子が生き生きと描かれています。土木技術だけでなく、当時の様子も読み取れます。



← 浅間山の噴火



御社の横には桜? →

(3) 明治期の河川改修

明治期に入ると西欧文化が広がり、治水技術や川についての考え方も大きく変化してきました。明治政府は当時先進的であったオランダ式の治水技術を導入し、淀川や利根川に工事を施します。明治29年(1896)に河川法が成立すると、これ以後は、河川法に基づく治水事業が行われるようになりました。

明治以降の技術変化は、河川図にも大きく影響し、それまでの河川絵図から実測に基づく近代河川図へと移り変わっていきました。「埼玉県管内権現堂川平面図」(埼玉県行政文書 A1956)は、明治の旧河川法に基づき描かれた河川図です。この資料を中心に、河川図へ表れる技術変化を紹介します。



田口(栄)家 2103 [行幸堤起工記念写真]



↑拡大 まげを結った人が写っています

(4) 川と産業

ここでは河川の恵みとして、鵜飼と水車利用を紹介します。鵜飼による鮎漁は、荒川では古くから行われ、「忍名所図会」にも描かれています。鵜飼による漁業は、昭和初期に規制がかかるほど増加しましたが、現在では衰退しています。県内における河川漁業を知るための資料として「埼玉県漁業図」（県 307）を紹介します。

また、武蔵野台地に流れる河川や用水には、江戸時代から多くの水車が造られ、製粉や引水、伸銅に利用されてきました。ここでは〔黒須村に所持する長屋水車小屋配地図〕（西川家 936-2）や迅速原図「埼玉県武蔵国高麗郡笹井村入間郡扇町屋駅及黒須村」（迅原 520）に描かれた水車を紹介します。



玉淀の鵜飼い(埼玉新聞社撮影報道写真)

S320811-024



「埼玉県武蔵国高麗郡笹井村

入間郡扇町屋駅及黒須村」迅原 520

(5) 川と水害

近年まで県東部地域は、毎年のように水害に見舞われ多くの被害が出ていました。人々は水害による被害を図示し、描き残しています。現在、こうして作られた絵図や地図が、相次ぐ災害のもと見直されています。予想される災害危険域や危険度を後世へと伝える水害図をここでは、江戸期の〔安政六年七月廿五日荒川洪水絵図〕（持田（英）家 883）と明治期の「一府五県水害図」（野口（泰）氏収集 48）を並べ紹介します。

(6) 川と橋

江戸時代、架橋することは通行を管理する上で制約されており、また技術的にも難しいものでした。明治以降、交通の発達によって河川に橋を架けることが進められましたが、高度な技術を必要とするため、大河や重要河川への架橋には多くの予算と優秀な人材が投入されました。ここでは、河川図に描かれた橋に着目し、明治 19 年（1886）の利根川橋梁の明治天皇による天覧についても取り上げます。



(7) 川と舟

河川図の種類の一つに河川交通を表す図があります。ここでは、どのような船がどのような河川を航行していたのかを取り上げます。明治期に作成された〔見沼通船路絵図〕（篠崎家 4266）には、現在では通船光景が浮かばないほど狭い水路を航行していたことが図示されています。また、蒸気汽船による航路図など交通路としての河川も紹介します。

(8) 川と親しむ

現在作られている河川図には、川辺を楽しむことを目的とした地図も多く作られています。こうした地図とともに、川に親しむための取り組みを紹介します。

展示資料一覧

テーマ	展示期	資料番号	資料名	年代	形態
開催にあたって			「開催について」		パネル
			埼玉県河川図	平成26年	パネル
			河川年表	中世～現在	パネル
			「川の国 埼玉をめざして」	平成26年	ポスター
関東河川図	前	足立家105	足立関東絵図	江戸時代	原本
	後	武笠(寛)家1185	関東川々村附絵図	江戸時代	原本
		小室家5707	玉川上水野火止分水口より流末宗岡迄之絵図	江戸時代	原本
利根川の西東遷		田口(栄)家1797	赤堀川切広之図	江戸時代	複/原
		小林家2438	[権現堂川赤堀川筋絵図]	江戸時代	原本
		野中家8213	[荒川通瀬替絵図]	文化3年2月	原本
明治期の河川改修		A1956	埼玉県管内権現堂川平面図	明治32年度	ラミネート
		田口(栄)家2103	[行幸堤起工記念写真]	明治時代	原本
		明1786 64-2	北葛飾郡権現堂川村地内権現堂川通川除杭出箇所図	明治25年	パネル
		小林(茂)家7275	上宇和田堰堤附近略図	年代不明	原本
		森泉家311	堤防図彙(天)	近世	原本
		森泉家312	堤防図彙(地)	近世	原本
		森泉家73	堤防図彙(人)	近世	原本
		森泉家74	量地抄	嘉永3年5月	原本
川と産業			荒川の鵜飼(『忍名所図会』)	近世	パネル
		S320811-024	玉淀の鵜飼(埼玉新聞社撮影報道写真)	昭和32年8月11日	パネル
		大1736-6	秩父北部漁業組合ヨリ鵜使漁業及「ガラ曳」禁止請願ノ件	大正14年1月29日	パネル
		県307	埼玉県漁業図	[昭和54年]	原本
		G661 SK94	埼玉県第五種共同漁業権漁場図	平成16年1月	原本
		小室家4092	埼玉県地誌略	明治10年6月	原本
		西川家936-2	[黒須村に所持する長屋水車小屋配地図]	江戸時代	原本
		迅原520	埼玉県武蔵国高麗郡笹井村入間郡扇町屋敷及黒須村	明治14年10月	複製
川と水害		野口(泰)氏収集48	一府五県水害図(治水第1号付録)	明治43年10月3日	原本
		飯島徳蔵氏収集641	埼玉県水害誌付地図	明治43年	原本
		飯田氏収集文書289	[絵葉書](明治43年8月洪水、5枚)	[明治43年]	原本
	前	持田(英)家883	[安政六年七月廿五日荒川洪水絵図]	[安政6年]7月	原本
	後	川島家1179	[利根川流路説明図弘化三年五月下旬より七月月上旬まで洪水二付]	[弘化]	原本
川と橋	前	A1947	荒川河川台帳工作物構造明細図 赤羽鉄橋構造図	大正時代	原本
	前	A2003	荒川河川台帳正本 第貳拾四号 (北足立郡河川台帳正本)	大正時代	原本
	前	迅原15	埼玉県下武蔵国北足立郡川口町之図	明治13年5月	複製
	前	明1729 53-2	北足立郡川口町地内荒川鉄橋架設二付買収地図(日本鉄道株式会社敷設二関スル書類)	明治時代	パネル
	後	足立家243	日光御社参下総国葛飾郡中田町武蔵国埼玉郡栗橋町之間房川御船橋之図	天保14年4月	原本
	後	A1987	利根川河川台帳平面図 第一号	昭和5年結了	ラミネート
	後	明1545-21	北葛飾郡旗井村地内利根川鉄橋架設用地図(日本鉄道株式会社敷設二関スル書類)	明治時代	パネル
	後	明553-57	行幸行啓書類	明治時代	パネル
	後	迅原789	埼玉県武蔵国北葛飾郡栗橋宿	明治16年6月	複製
川と舟		川田氏収集1450	[利根川汽船いろは丸案内]	明治16年2月	原本
		中川家1825	川下小船絵図面	明治時代	原本
		篠崎家4266	[見沼通船路絵図]	明治時代	原本
川と親しむ		地図946	利根川散策絵図	平成9年10月	原本
		地図755	荒川・隅田川散策絵図	平成10年6月	原本
			全国ダム図	平成26年	原本
			ダムカード	平成	原本

* 資料の劣化を防止するため2期間に分け、一部展示替えを行います。
前期…1/10(土)～2/1(日)、後期…2/3(火)～3/1(日)

埼玉県立文書館

Saitama Prefectural Archives

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区

高砂 4-3-18

電話 048-865-0112

FAX 048-839-0539

E-mail p6501121@pref.saitama.lg.jp

ホームページ

<http://www.monjo.spec.ed.jp>

利用時間

午前9時～午後5時

休館日

毎週月曜日、国民の祝日・休日



彩の国 埼玉県



埼玉県のマスコット コバトン